

京都丹波 まな Viva!

令和7年7月23日 No.65
京都府南丹教育局発行

「京都丹波 まな Viva!」は、学校と先生を応援する南丹教育局の学びのニュースです。

「なんたん学びモデル推進校」

「京都丹波の教育推進プラン」に基づき、質の高い授業づくりに向けた授業改善の推進に取り組むことを目的に、令和7年度は管内1こども園と4小学校、3中学校を「なんたん学びモデル推進校」として指定しています。

各推進校では、自校の現状を分析した上で、「学力向上」に係る課題解決に向けた研究テーマを掲げ、児童生徒の確かな学び、教員の指導力向上に取り組んでいます。

【2年次推進校の研究テーマ紹介】 ①研究主題 ②研究内容 ③期待する効果

亀岡市立大井小学校

- ①生き生きと表現し、主体的に学習する子どもの育成 ～みんなで学ぶっておもしろい!～
- ②主体的に学ぶ子どもの育成を目指した授業改善
- ③魅力的な単元をデザインすることで、主体的に学ぶ児童を育成
授業の中に伝え合いの場を設定することで、生き生きと表現する児童を育成

南丹市立園部小学校

- ①つながりを大切にし、主体的に学ぶ子どもの育成 ～適用題からふりかえる授業改善を通して～
- ②校内研修の充実、授業力の向上、基礎学力向上、非認知能力の向上、ICTの効果的活用
- ③自己肯定感の高まりにより、積極的に学びに取り組んだり、あきらめずに取り組もうとしたりする学習意欲を高め、学力の向上を図る。

南丹市立美山中学校

- ①自ら学ぶ姿勢を引き出す指導とその効果
- ②授業改善と家庭学習の両立と校内の取組の効果を検証する。
- ③学びに対する自身の姿勢について考え、主体的な学びを身につける。
教師の指導力の向上、単元デザインの工夫ができる。
家庭学習の充実、自ら課題設定ができる自主学習を目指す。
学校全体で成長できる状況を作り出す。

京丹波町立瑞穂中学校

- ①主体的な家庭学習につながる授業づくり
- ②主体的な家庭学習につながる授業展開の工夫、「単元構想」を軸としたメリハリのある授業作り
- ③授業改善により、主体的な家庭学習につなげて学力と学びの質を向上させる。
明確な「単元構想」のもと、教師と生徒がともに目標を共有することで、学力と学びの質を向上

【1年次推進校の研究テーマ紹介】

①研究主題 ②研究内容 ③期待する効果

亀岡市立詳徳小学校

- ①言語活動を個の学びにつなぐ授業づくり
自己肯定感を学びの意欲へ / 安心して学び合う集団づくり
- ②授業改善、学習の基盤づくり、集団づくり
- ③児童アンケート…主体的な学習意欲・自己肯定感の項目の向上
市学力テストIRT 指標の経年比較における維持・向上
各学力テストにおける記述問題への無回答率を低減

亀岡市立大成中学校

- ①「ファシリテーション」を活用した対話型授業の実践推進
- ②「ファシリテーション」の授業実践を各教科で進める。
- ③「話し合い活動」を進める基盤として「人の話を最後まで否定せず聞く」姿勢を生徒に定着させ、学級の心理的安全性を確保する。
「話し合い活動」など対話型授業を実施する頻度を上げる。
学活・総合的な学習において、探究的な学びの時間を増やす。

南丹市立胡麻郷小学校

- ①自分の考えをもって語り合い、主体的に学ぶ児童の育成
- ②算数科の授業研究、授業研究会（事前研究会・事後研究会）の充実
- ③1時間の中で児童が学びを実感できる。
他者との話し合いで自分の考えを進んで表現する。

京丹波町立わちこども園

- ①“とことん遊ぶ”子どもの姿を探る ～先生も遊ぶ 一緒に遊ぶ 子どもとつながる～
- ②先生も遊ぶことを常に心に留め、園児の内面を探り、環境構成や援助を考える。そのために、保育教諭同士で話したり語り合ったり、互いの考えや思いを認め合ったりしながら、遊びの捉え方や保育について考えを深め合う。
- ③園児が興味・関心をもっていることを捉えて内面を探る。
自分の保育を振り返り、教諭同士で話したり語り合ったりして、保育の質を互いに高め合う。



QRコードを読み取っていただく、京都丹波の教育推進プランの説明動画やチェックポイントシートが確認できます。



おらせ

「なんたん学びモデル推進校 授業研究発表会」を開催

※詳細につきましては、後日案内いたします。市町を越えて多くの授業を見て学ぶ機会にしてください。

- 【2年次校発表】 9月26日(金) 南丹市立園部小学校 10月15日(水) 京丹波町立瑞穂中学校 10月28日(火) 南丹市立美山中学校 1月21日(水) 亀岡市立大井小学校
- 【1年次校発表】 随時紹介いたします。

